

## 優良賞

気比中学校1年

 **中村朱里**さん

## ●研究テーマ

## 水の蒸発量の変化について

## 動機

家で飼っているメダカの水槽の水が夏になると大きく減っていることがあった。一日の中でいつごろ蒸発量が最も多いのか、蒸発には何の要因が関係しているのかを調べるために実験を始めた。

## 内容

一日の中で水の蒸発量が多い時間を調べるとともに、これには気温、水温、湿度、天気の何がどのように関係しているのかを調べた。その結果、晴れの日には、蒸発量が多い時間と気温とのずれはない。曇り・雨の日には、蒸発量が多い時間は気温が高い時間より少し遅くなることがわかった。

このことから、水の蒸発量は、天気に左右され、水の温まり方に関係があると考えられる。

次に、空気が水と触れる表面積も関係するのではないかと考え、発展的に調べた。

その結果、表面積が大きいほど蒸発量が多いことがわかった。

## まとめや感想

今回の研究では、水の蒸発量は太陽が空気、水を温めること、そして表面積に左右されることがわかった。また、測定値の平均をとることで、より正確な結果となることが実感できた。実験から、新たな疑問も見つかり、調べていくことが楽しかった。